

経営比較分析表（令和2年度決算）

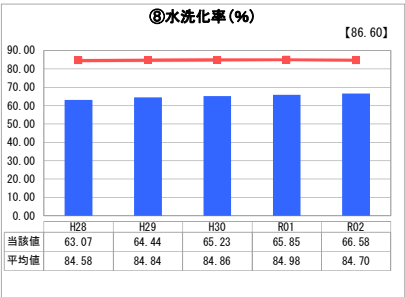
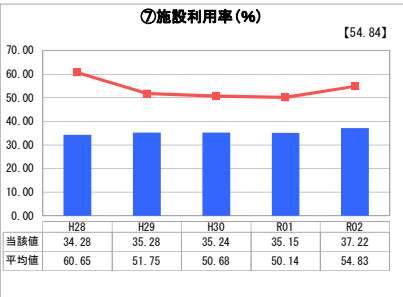
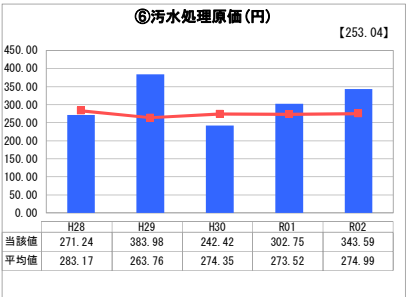
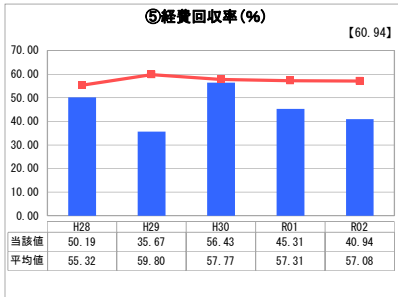
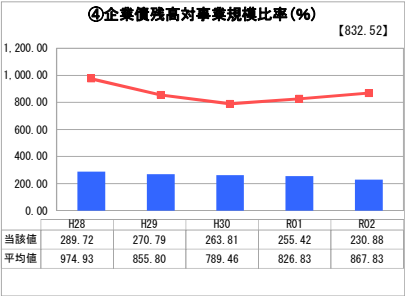
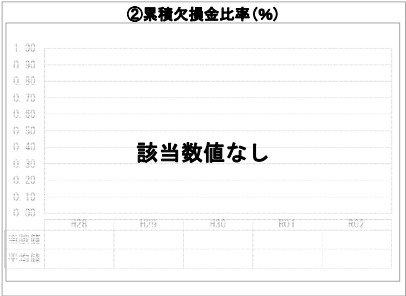
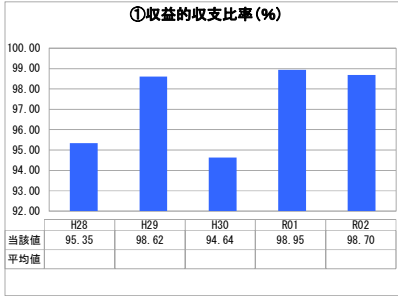
青森県 南部町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	33.55	93.98	2,480

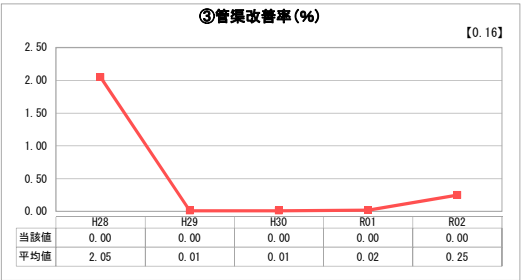
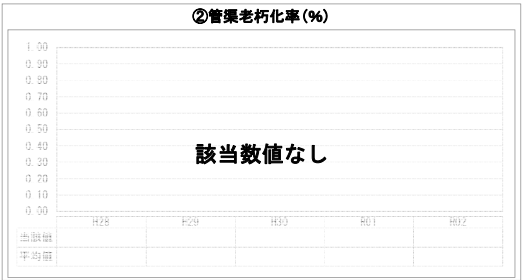
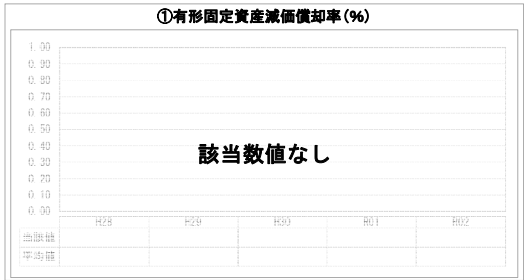
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
17,569	153.12	114.74
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
5,865	5.17	1,134.43

■ 当該団体値（当該値）
— 類似団体平均値（平均値）
【】 令和2年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

収益的収支比率は、人口減少による料金収入の低迷と排水処理施設管理費用の増加により、料金収入のみでは賄い切れず、他会計繰入金に依存している状況である。

これにより、経費回収率も悪化している。

経営を安定させるためには、下水道加入促進や使用料金改定（増額等）の検討、適正な維持管理運営による汚水処理原価の減減、施設利用率の向上を目標に長期的に収支の均衡を図っていくことが求められる。

2. 老朽化の状況について

管渠改善率については、現在低い水準である。

耐用年数を超える管渠は、数十年後先であり、定期点検等により更新が必要な管渠は特に見当たらない。

しかし、処理場機械電気設備及びマンホールポンプについては、水処理の過程において一部不具合が生じたことから、更新をしている。

今後は、耐用年数を超え老朽化していく施設がさらに増加すると想定されるため、機能診断及び最適整備構想による効率的な調査点検、適正な維持管理運営が必要である。

全体総括

施設利用率、水洗化率の平均値を下回っているのは、人口減少と加入者の低迷が主な要因と考える。

また、排水処理施設の経年の稼働により修繕費が増加傾向にあり、他会計繰入金に依存している状況である。

今後は、下水道への加入促進による接続率の向上、下水道使用料の見直し、機能診断及び最適整備構想による効率的な調査点検、適正な維持管理運営により、平均値に近づけていけるよう努めることが必要である。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。